

あいのう消費者の会

# いきいき通信

発行 愛農消費者の会いきいき通信編集部

連絡先 愛農流通センター名古屋本部

名古屋市天白区井口2丁目903番地



鶏の解体をしながら説明する池野十誠さん

「卵は一日に一個生まれてくるので、もしかしたら今日の分の卵が出てくるかも」の説明で、まずは釘付けになっていました。本当に卵が一つ、鶏のお腹の中から

## 命を「いただきます」を体感

七月四日、あいのう消費者の会は半田市のさくら小学校の家庭科室で、鶏肉と卵の生産者・池野十誠さんをお招きし学習&お料理教室を開催しました。

参加者は、大人十三名、こども四名の総勢十七名でした。最初に、池野さんに当日の朝まで生きていた鶏を解体していただきました。こども達も参加していたので大丈夫かなと少し心配をしましたが、最初から最後までしっかりと見つめていました。



ご家族やお子様連れの参加も。カレーライスに唐揚げなど盛りだくさんでした。



出てきたときには、こどもと大人から言葉にならない声が上がっていました。

その後、調理台四台に分かれて当日のメニュー、鶏肉の玄米カレー・スパニッシュオムレツ・サラダ・鶏肉の塩麴唐揚げを作りました。卵を産んだ鶏肉は固いという意見もあるのですが、前日から塩麴をまぶして丸一日おいて、唐揚げにしてみました。「全然固くなくておいしい」（こども）、「これは、いいなあ」（おとな）といった声があったので、是非みなさんもトライしてみてください。

先のメニューに加えて追加で、卵かけご飯・解体した鶏肉でのしゃぶしゃぶと盛りだくさんで「お腹がいっぱい」と、大満足の様子でした。「いのち」を「いただきます」が体感できた貴重な機会にもなったのではないのでしょうか。（K）

### 講師の池野十誠さんの感想

☆料理はポリウムがあつて美味しくて、簡単で、家でも作ろうと思えました。自分自身が勉強になりました。今回のような会をいろいろな場所で行うか、同じ場所で友人・知人を誘って行えばよいのでは。広がる気がしました。きっと参加した方は満足していると思います。お子様をターゲットにする企画にすれば、お母さんの参加が増えると思います。

### 参加者の感想

☆つい数時間前まで生きていた鶏のお肉は、力強く、うま味がぐぐっと詰まっていました。四歳と一歳の子とも一緒に参加できて、とても嬉しいです。

### 愛農の鶏肉を使った唐揚げ

（材料）愛農鶏肉1パック、塩麴 大さじ2-3杯、片栗粉適宜、揚げ油

（作り方）

①鶏肉に塩麴をもみこむ。フォークで肉に何力所か刺しておく、塩麴がよくなじむ。好みでこしょうやしょうが汁を加えても。

②冷蔵庫で丸1日寝かした後、片栗粉をまぶし、表面がかりっとし、よい色になるまで油で揚げる。

※硬い肉も麴パワーで程よい硬さに。  
※麴が焦げるのが気になる方は、片栗粉をまぶす前に軽く麴を取り除いてもよいでしょう。  
※塩麴は道長さん製（120g 税込390円）が愛農通信欄で買えます。

（愛農から）現在愛農の鶏肉が品薄状態です。ご注文頂いても9~10月頃までは欠品になる可能性が非常に高いです。

☆鶏肉がとてもおいしくて、たくさんいただきました。ありがとうございます。調理台が子どものサイズなので、腰が痛くなりませんでした。  
☆とても楽しかったです。いろいろお話を聞くことができて、勉強になりました。ありがとうございました。

☆初めて参加しましたが、楽しかったです。鶏の解体も身近で見れて今まで何気に疑問に思っていたことも、丁寧に教えていただき、納得できました。

☆初めて家族と参加させていただきました、とても勉強になりましたし、楽しかったです。鶏の解体は子どもたちの食育になるので、もっと沢山の方が見学できるとよいなと思いました。

かむほどに広がる深い味わい  
半田市・天然酵母パンの店「海音（かのん）」

半田で天然酵母パンのお店  
と言えば「海音」をご存知の  
方も多はず。昭和の趣が漂  
う古民家の引戸をガラガラと  
開ければ、パチパチ良い音を  
立てて焼き上がる食パンや、  
季節の野菜を豊富に使い無添  
加調味料で仕上げられた惣菜  
が並んでいます。



自家製レーズン酵母を使い、手ごねの製法で、あ  
いの商品も一部使われており、原料は体にやさしいも  
のばかり。娘に安心して食べさせたい、との思いで私  
はこのお店と出会いました。

噛めば噛むほど旨みが広がり元気の源が体中に染み  
渡るよう。体調が良い時も、優れない時も食べたく  
なる深い味わいです。気負いのない自然なものづくり  
から生み出される確かなものと、それを求めてやって  
くる人達との調和。一度手に取り、是非お気に入りを見  
つけて下さい。お店にはまた来たくなる柔らかな空  
気が流れています。（Candy）

住所☆半田市清水北町60、電話☆0569-22-5530  
時間☆10時～18時、日・月休み、地方発送・予約可、  
毎週火曜日は知多半島の無農薬野菜を販売。  
プレーン食パン430円、日替わりサンド240円、チーズ  
ブレッド170円、大豆ミートカレーパン170円 シナモ  
ンロール170円、鬼饅頭120円、キッシュ290円など。

危険性が増したGM食品の実態を知る  
遺伝子組み換え食品の講演会に参加して

先日名古屋で行われた、講演会「恐怖のGM（遺伝子  
組換え）作物が日本にやってくる！枯葉剤まみれのダ  
イズが食卓に?!」に参加しました。

今まで漠然と「遺伝子組み換え食品は体によくない、  
食品を買う時は、商品の説明書きをよく見て、買った  
りする程度」でしたが、講師お二人（印鑰智哉さん、  
河田昌東さん）の話聞いていくうちに、思った以上  
に遺伝子組み換え（GM）の食品は食用油、家畜飼料、  
加工食品となって食卓に上っているそうです。

GM作物栽培国であるアメリカ、カナダ、ブラジルで  
は環境汚染や健康被害などが多く、問題を起こしてい  
るが、日本では全く報道されていないとのこと。

除草剤を使い続けて、効き目がなくなる耐性雑草が  
はびこり、さらに毒性の強い枯葉剤、耐性のGM作物が  
登場。これはベトナム戦争で使われ奇形や癌など、今  
なお被害が続いているそうです。

GMのチェック機関である農水省、厚労省も個別には  
審査して栽培承認するものの、すべてを含んだ調査は  
していないということです。身近に迫る危険を私たち  
は知らされていないことが恐ろしいです。（S）

編集後記 消費者の会と生産者・愛農とコラボで料理  
教室を開きました。参加者は講師の養鶏農家、池野十  
誠さんに日頃抱いている鶏や卵についての疑問を直接  
聞くことができました。一緒に食べて、おしゃべりし  
て、片づけして・・・生産者と愛農、消費者の3者の  
距離がぐっと近くなった一日でした。（じ）



5月の田植えイベントで苗  
を植える参加者

四月には苗箱つくりと  
種まき。土を入れ、高さ  
をならす。水をたっぷり  
まき、種を蒔き土をかぶ  
せる。同じ作業が九百箱  
近く続きます。来るたび  
にハウスに並べられた苗  
はどんどん伸びていきま  
す。

稲も野菜も私も  
大きく成長中！  
自給村だより③  
自給村一年生で、農業初  
体験を始めました。三月、  
長靴を履いて、初めて田  
んぼ（水は入っていない）  
に足を踏み入れ、放線有  
機を撒いて耕運機を運転。  
青空のもと、山に囲まれ、  
川からの風が気持ちいい  
自然の中で、大地に触れ  
ている感動がありました。  
初心者三人で二枚の田んぼ  
を耕し終え、達成感に酔  
いれます。

五月は田植え。水を張つ  
た田んぼに初めて足を入  
れズブズブと沈む。毎回  
転びそうになり悪戦苦闘  
が続いています。二十三  
日には子どもも大人も参  
加のにぎやかな田植えイ  
ベントも行いました。  
五月に植え付けた畑の  
野菜たちもすくすく育ち、  
六月は草取りと草刈りの  
日々です。週末に活動し  
ているので、来るたびに、  
稲も野菜も草たちも大き  
く成長しています。枝豆  
の双葉が豆本体そのもの  
だった姿も可愛らしく、  
ナスの葉っぱってこんな  
に大きくなるの？に驚き、  
お店で並んでいるような  
ちようどいいズッキーニ  
が収穫できて大喜び。  
大きな雑草と間違えて  
ジャガイモを伐採してし  
まったハプニング！？も  
ありました。仲間たち  
に一つ一つ教えてもらい  
ながら、自然の営み、成  
長の一つ一つを見て感じ、  
学べることに感謝してい  
ます。（伊藤嘉野）

五月は田植え。水を張つ  
た田んぼに初めて足を入  
れズブズブと沈む。毎回  
転びそうになり悪戦苦闘  
が続いています。二十三  
日には子どもも大人も参  
加のにぎやかな田植えイ  
ベントも行いました。  
五月に植え付けた畑の  
野菜たちもすくすく育ち、  
六月は草取りと草刈りの  
日々です。週末に活動し  
ているので、来るたびに、  
稲も野菜も草たちも大き  
く成長しています。枝豆  
の双葉が豆本体そのもの  
だった姿も可愛らしく、  
ナスの葉っぱってこんな  
に大きくなるの？に驚き、  
お店で並んでいるような  
ちようどいいズッキーニ  
が収穫できて大喜び。  
大きな雑草と間違えて  
ジャガイモを伐採してし  
まったハプニング！？も  
ありました。仲間たち  
に一つ一つ教えてもらい  
ながら、自然の営み、成  
長の一つ一つを見て感じ、  
学べることに感謝してい  
ます。（伊藤嘉野）